

## 会 議 録

会議名	第7回印西市地域福祉計画策定委員会	
開催日	令和3年1月18日（月）	
開催場所	書面会議	
出席委員	松山毅委員長、山野幸子委員、近藤幸一郎委員、三島木健委員、小林久男委員、 関野庄悦委員、本田薫委員、岩本清委員、中村智恵子委員、渡邊勝久委員 山口茂委員、山下順三委員	計12名
欠席委員	—	計 0名
出席職員等	[事務局] 社会福祉課	
傍聴者	— 名	
会議次第 議 題	<b>【報告事項】</b> (1) パブリックコメントの実施結果について <b>【議事日程】</b> (1) 第4次印西市地域福祉計画（最終案）について	
配付資料	<b>【資料1】</b> 第4次印西市地域福祉計画（案） <b>【資料2】</b> 第4次印西市地域福祉計画（案）市民公募手続（パブリックコメント）の結果	

### 委員からの意見等

**【議事】**

(1) 第4次印西市地域福祉計画（最終案）について

**【委員A】**

委員会での提案事項をはじめ、前回（案）から色々と工夫されており、事務局の努力が感じられる。一点だけ修正提案がある。

①22頁②「市民同士の交流機会・ふれあいづくりの推進」の7行目「小学校との交流事業」を「小学校・中学校との交流事業」への修正を提案する。

**【事務局回答】**

御意見を踏まえ、当該箇所を「学校との交流事業」に修正する。

**【委員B】**

意見というより感想として述べさせていただく。

地域福祉計画の基本目標に沿って、活動全体の流れが体系的にも内容的にもわかりやすく纏められてい

ると思われる。

①33頁の重点施策でもある①「避難行動要支援者対策の推進」にも絡めて②「自主防災活動等の推進」で可能であれば地域毎による防災訓練（小規模、年1回程度）を実施することで、いざという時の対応に役立つと思われる。

②34頁「地域における防犯体制の強化」中に「犯罪被害者等を支援する社会環境の充実を図るため～支援を進める」とあるが、道路脇の籐が茂り、視界が悪く、美化の点でも損なわれている所が散見される。犯罪防止等の観点から、抑止力の一つとして環境整備の充実の強化を図っていただきたい。

**【事務局回答】**

貴重な御意見として承る。

**【委員C】**

次の点について確認したい。

①10頁「印西子育てプラン」の実施期間は令和6年度までとなっているが、矢印が令和7年度まで引かれている。

②計画書数か所に「地域生活課題」と表記されているが、個々の世帯や個人が抱えるものと思われるため、「地域の福祉課題」の表記が適当ではないか。

③21頁①「地域福祉への意識啓発の推進」1行目「広報いんざいや市ホームページ等の市をはじめ・・・」の表記を修正したほうがよい。

④25頁「住民に身近な圏域」は「住民にとっての日常圏域」のことか。

⑤39頁①「成年後見制度の利用促進」中の計画名の誤記。

⑥39頁②「生活困窮者等の自立支援の推進」中の「家計相談支援等」は制度上の事業名は「家計改善支援」である。

⑦72頁「(2)地域コミュニティづくりや市民交流について」の3行目に「家庭」が入っているが、家庭で挨拶や声かけを実施しているように理解されてしまう。

⑧86頁用語解説「社会福祉協議会支部」中、「活動拠点」を「活動範囲」に修正を依頼。

⑨87頁用語解説中「DV」と「出前講座」の間に1行開いていない。

⑩「共助」の意味について、11頁と79頁は同じ意味合いか。

⑪85頁用語解説「協議体（第1層・第2層）」は一般的な表現で記載するもなら現状でよいが、市の状況に合わせたものなら修正が必要。

**【事務局回答】**

①御意見のとおり、当該箇所を令和6年度までに修正する。

②御意見のとおり当該箇所を「地域の福祉課題」に修正し、26頁の「地域課題」も「地域の福祉課題」に修正する。

③御意見のとおり、当該箇所を「市の広報やホームページ等をはじめ」に修正する。

④「住民にとっての日常圏域」のことである。国通知等と合わせた表記のため、修正はしない。

⑤御意見のとおり、誤記のため修正する。

⑥法令上の事業名である「家計改善支援等」に修正する。

⑦御意見のとおり、当該箇所の「家庭や」を削除する。

⑧御意見のとおり、当該箇所を「活動範囲」に修正する。

⑨御意見のとおり、当該箇所に1行スペースを空ける。

⑩御意見を踏まえ、79頁の「共助」の前に「互助」を加える。

⑪用語解説は一般的な内容を記載しているため、現状のままとする。

#### 【委員D】

大変ご苦労様でした。修正は求めないが2点意見がある。

①34頁④「地域における防犯体制の強化」中犯罪の内容が明確でない。(強盗、詐欺等)

②37頁③「多文化共生への対応」5行目の担当課に指導課があってもよい。

#### 【事務局回答】

①犯罪の内容は多種多様のため記載していない。

②関係課が多岐にわたるため、指導課を含め、関係各課とした。

#### 【委員E】

①第4章施策の展開の各目標毎に現状と課題が記された内容で、素案と違う次の2点について理由を聞きたい。文中に「調査結果・・・」と記されているが、素案では「アンケート調査・・・」と記されていた。一方、資料編では「アンケート調査結果」となっている。統一してはどうか。

②素案では四角で囲んだ記述があったが、案ではなくなっている。

③第4章施策の展開の「担当課」について、「指導課」が何をする部署なのかが、この名称だけでは理解しにくい。他の部署はその名称からそれなりに理解できるが如何か。

④13頁「3地域福祉を推進する計画策定の視点」が加えられたがその理由は。

⑤13頁「3地域福祉を推進する計画策定の視点」の最終行「目標が挙げられ」を「目標を挙げ」とした方が文脈としては良い。

⑥「第2編 印西市成年後見制度利用促進基本計画」について、前回の委員会で「いんざい子育てプラン」の掲載を望まれる発言があったが如何か。

#### 【事務局回答】

①アンケート調査結果と併せて、地域懇談会実施結果も踏まえた内容であるため、調査結果とした。

②素案の四角で囲んだ記述内容が四角の昇段に記述している内容と重複する内容のものが多かったため、一つに纏めた。

③貴重な御意見として承る。

④国の「SDG s 実施方針」において、地方自治体に「各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たってはSDG s の要素を最大限反映すること」を奨励しており、本計画においても、その趣旨を踏まえながら、各施策に取り組んでいく考えであるため、加えさせて頂いた。

⑤御意見のとおり、指当該箇所を「目標を挙げ」に修正する。

⑥当該計画は、主に認知症高齢者や障がいのある人等の権利擁護支援のための計画として位置付けている。「いんざい子育てプラン」も広い意味では関連する計画ではあるが、「主な関連計画」として位置付けていないため、「3 計画の期間」には掲載していない。

#### 【委員F】

基本的に印西市らしい「地域福祉計画」が出来ている。

①8頁「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」は車の車輪として考えているが、残念ながら「地域福祉活動計画」が現状では令和3年4月にスタートできる状況にない。地域福祉計画策定委員としては自己批判しなければならないと考える。また、社会福祉協議会と印西市の連携が出来ていないのは残念。

②計画の中で「自治会・町内会」と「自主防災組織」をどのような位置に置くのか同列に考えるべき。「自主防災組織」は災害時等重要な組織であり同列表記して頂きたい。

2頁「地域福祉の取り組みイメージ図」に「自主防災組織」を追加して頂きたい。

11頁主体欄の「自治会・町内会」と同様に「自主防災組織」を追加して頂きたい。

③今までの印西市地域福祉計画策定委員会にて他課への質問・要望があったと思うが、現状での検討状

況や結果が提示されていない。

④72頁「(2) 地域コミュニティづくりや市民交流について」「な課題」を「主な課題」に修正願う。

#### 【事務局回答】

①市としては社会福祉協議会との連携は地域福祉の推進に欠かせないものであると考えており、貴重な御意見として承る。

②御意見のとおり、2頁・11頁に「自主防災組織」を追加する。

③頂戴した御意見、要望等は担当課に伝えている。その後の担当課の検討状況等に関しては、社会福祉課では集約していない。

④御意見のとおり、当該箇所を「主な課題」に修正する。

#### 【委員G】

全体的に細かい部分の修正もあり、見やすくなった。例えば、19頁枠内の左から「市民」「地域」「行政」とされて市民重視が感じられるところなど。

①今回一番に思ったのは、13頁の地域福祉を推進する計画策定の視点としてSDG sの目標17の内10項目を関係の深い目標として、本市の地域福祉施策が取り込むゴールと記載されていること。

SDG s全体で232項目の指標とされるものがあり、その内のどの項目をどう達成したか、誰がどう判断するのかわからないし、これに対する市の取り組み方の経緯を教えていただきたい。千葉大学と京葉銀行の「ecoプロジェクト」の成果発表が印西市と関わりがあり、そこからの視点だろうか、と思ったが。このことに関しての説明がなくて良いのか。併せて、「用語解説」にSDG sを入れないのか。

②用語解説に「禁治産」という言葉も入れてほしい。

③地域福祉計画は誰が読むものなのか。

④パブリックコメントにもあった意見だが、22頁以降の枠内の「担当課」にある「関係各課」の注釈を付けてもよいのではないかと思った。

⑤33頁「②自主防災活動等の推進」中の「外国人に対応した多言語版総合防災ブックの配付・・・」の担当課に市民活動推進課を入れた方がよいのではないか。

#### 【事務局回答】

①国の「SDG s 実施方針」において、地方自治体に「各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たってはSDG sの要素を最大限反映すること」を奨励しており、本計画においても、その趣旨を踏まえながら、各施策に取り組んでいく考えであるため、加えさせて頂いた。計画の進行管理については、PDCAサイクルを活用し、各施策の効果や改善点を明らかにし、施策の充実を図っていく。用語解説への記載については、13頁上で概要を説明しているため、入っていない。

②「禁治産」「準禁治産」という言葉は旧民法上の用語であるため、用語解説には含めていない。

③地域福祉を推進するための共通認識を市民をはじめ、地域福祉を推進する各団体、行政が持ち合うものと考えている。

④御意見を踏まえ、19頁「施策の展開 ページの見方」に次の通り、注釈を追加する。

※「現時点で確定でないものや多岐にわたるものについては、「関係各課」と表記する。」

⑤防災課が「外国人に対応した多言語版総合防災ブック」の作成及び配布を行うため、防災課のみを担当課としている。

#### 【委員H】

①「福祉総合相談窓口」の設置は良い取り組みだと思う。開設されたら、パンフレット（できれば名刺サイズ）があれば法人で接触のある利用者や近隣住民に知らせやすい。

②成年後見人制度利用促進について、法人利用者に成年後見人を探している方がいるが、3か月程かけ

ても後見人が決まっていない。利用の促進を促しても利用できるまでの時間を短くできないか。後見人が決まれば事業者としても利用者に対するより深い協力ができる。

【事務局回答】

- ①貴重な御意見として承る。
- ②貴重な御意見として承る。

以 上

令和2年度第7回印西市地域福祉計画策定委員会の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和3年2月10日

地域福祉計画策定委員会委員長 松山 毅

---